



勇壮な合戦絵巻「白根大凧合戦」今年も開戦！

今年は「みなみマルシェ～シロネラコッテ～」や「360°VRライブ配信」を実施



今年も以下の日程で「白根大凧合戦」が開催されます。

平成27年には白根大凧合戦が、「三条」と「見附今町・長岡中之島」とともに、県の無形民俗文化財に指定され、毎年県内外から多数の来場者にお越しいただいているところです。300年の伝統を誇る勇壮な合戦をより多くの方にご覧いただきたいと考えておりますので、報道各位からの積極的な広報にご協力いただきますようお願いいたします。

日時： 6月7日（木）～11日（月）13時～18時 5日間

場所：南區白根・西白根中ノ口川堤防上

主な関連イベント：※詳細はチラシをご覧ください

- | | |
|--------|---|
| 7日（木） | ・市中パレード、開戦式 |
| 9日（土） | ・360°VRライブ映像配信 ・花火大会 ・凧見茶会、笹川邸茶会 |
| 10日（日） | ・360°VRライブ映像配信 ・みなみマルシェ シロネラコッテ
・お祭り広場 |

※「しろね大凧タウンガイド」によるガイドも可能

お問合せ

白根大凧合戦実行委員会

事務局：新潟市南区役所産業振興課商工観光推進室

担当：長倉、江川、山田

電話：025-372-6505（直通）

E-mail：sangyo.s@city.niigata.lg.jp

7日 市中パレード
 12時30分～(荒天時中止)
 新潟市南区白根 本町通を中心に開催



第44回 子ども大凧合戦大会 6日
 14時～17時30分(雨天の場合、9日(土)9時～11時)
 凧合戦会場(中ノ口川堤防上)



しろね大凧と歴史の館 5月26日(土)～6月17日(日)
 白根大凧合戦写真コンテスト2017入選作品の展示
 巻凧組のミニ凧の展示
 同館特別展示室



世界最大級の凧の資料館
 「しろね大凧と歴史の館」に
 ぜひお立ち寄りください。
 全国の凧は勿論、世界40カ国の、約800点を展示。
 3D(立体)映像では、凧合戦の熱意と興奮を生々しく伝えています。

第34回 お祭り広場 10日(日)
 10時～17時
 新潟市南区白根 本町通



南区“食”の合戦 9日(土)10日(日)
 9日 白根・味方側とも:11時～15時
 10日 白根側:10時～15時 味方側:11時～15時



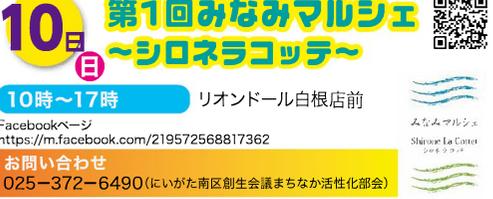
お祭り広場 前夜祭 花火大会 9日(土)
 20時～21時(荒天の場合、翌10日に延期)



白根大凧合戦イベント 5日(火)
 北風まつり
 19時～



第1回 みなみマルシェ ～シロネラコッテ～ 10日(日)
 10時～17時 リオンドール白根店前



第12回 南区美術展覧会 6日(水)～11日(日)
 9時～18時(最終日は16時まで)



ライブ映像配信 9・10日配信
 SKY FINDERホームページ <http://skyfinder.jp/shironetako>
 Facebookページ <https://m.facebook.com/219572568817362>
 今年は「360° VRライブ配信」を行います!

白根大凧合戦写真コンテスト 2018
 テーマ/ ことしの白根大凧合戦に関する写真
 締め切り/ 6月29日(金)当日消印有効
 応募規定/ カラー四つ切(ワイド四つ切可)、デジタル撮影可、作品は未発表のもの応募は、お一人様5点まで。※詳細は要項による。

白根大凧合戦の参加者を募集
 対象 高校生以上
 白根大凧合戦に出場する大凧組に加入し、1年を通して凧作りから凧上げまで一緒に活動する人を募集しています。

新潟県指定無形民俗文化財

新潟市補助事業

しろねおたこがっせん 白根大凧合戦

平成30年 6月7日(木)

11日(月)

13時～18時

7日(木)は14時頃開戦
 11日(月)は17時30分まで

会場 新潟市南区白根・西白根
 中ノ口川堤防上

有料観覧席 1人500円

観覧席A・Bで180席。7日は降は、直接有料観覧席へお申込みください。(しろね大凧と歴史の館 共同入場券)ただし、高席の場合があります。

観覧船 高校生以上1人100円

4艘で500人乗船可能。船上での飲酒はご遠慮願います。

公共交通機関をご利用ください

路線バス ◆路線バスは新潟駅前から凧合戦会場付近臨時バス停まで

①「新潟駅前」乗車～「青山」下車徒歩
 高代橋ライン(B)で約30分 料金210円
 ②「白根側」「青山」乗車～「(臨時)白根小前」下車
 大野・白根線(W7)で約45分 料金600円
 【味方側】「青山」乗車～「白根町」下車
 味方・月浦線(W8)で約40分 料金650円
 路線バスの時刻表・割引料金など詳しくはお問い合わせください。
 新潟交通観光バス新潟東営業所 TEL 025-86-3355

無料シャトルバス 凧合戦運営協力金にご協力をお願いします。

7日(木)～11日(月)12時30分～18時30分。約20分間隔で運行。
 (7日は12時00分から18時30分、10日は9時30分から18時30分まで運行)

<7日(木)・8日(金)・11日(月)>
 しろね大凧と歴史の館⇒凧合戦会場(五六の町)⇒しろね大凧と歴史の館
 <9日(土)>
 №1:しろね大凧と歴史の館⇒凧合戦会場(五六の町)⇒しろね大凧と歴史の館
 №2:J A新潟みらい本店⇒凧合戦会場(五六の町)⇒J A新潟みらい本店
 <10日(日)>
 №1:しろね大凧と歴史の館⇒白根小学校前⇒しろね大凧と歴史の館
 №2:J A新潟みらい本店 ⇒白根小学校前⇒J A新潟みらい本店

お問い合わせ先
 白根大凧合戦実行委員会
 (事務局:新潟市南区役所産業振興課内)
 TEL 025-372-6505
<http://www.shironekankou.jp/tako/index.html>



乗車バス停	行き	到着時刻	乗車バス停	通り	出発時刻
一の町	→	10時30分	一の町	→	11時30分
三の町	→	12時30分	三の町	→	12時30分
五の町	→	13時30分	五の町	→	13時30分
	←	16時30分		←	15時00分
	←	17時30分		←	16時30分

※凧合戦期間中は、白根町通りにて交通規制がかかります。利用できない停留所があります。詳しくは予約の際にご確認ください。

凧合戦を楽しく観るには

事故が起きないように

合戦会場は混雑します。その中で威勢のいい若者が駆け抜けます。前、後、そして、頭上にも注意しましょう。堤防上は自転車・ベビーカー等の乗入れはご遠慮願います。

観戦のポイント

凧合戦は中ノロ川に沿った北風が吹くときに最高の合戦が繰り広げられます。北風と、南から流れる川の流れが、合戦を行う最大のポイントです。



その一：凧揚げ開始

川を挟んだ相手と揚げるタイミングを計ります。最初に白根側の凧を西白根側の堤防めがけ揚げ、低空で相手を待ちます。



その二：凧網の交差

次に西白根側の凧が上空から、相手の凧網を交差させ、真逆さまに水面に突っ込みます。網が絡み両方の凧が川に落ちたら、川の流れを利用して網をより強く絡めます。



その三：引き合い



さあ！引き合いの始まりです。力を込めて相手の網を切るぞ！

堤防の下まで網を引く行列ができます。

その四：勝負の行方

互いの網を引き合せて、相手の網を切ったほうが勝ちとなり、期間中の通算成績で順位を決めます。1年かけて作り上げた汗の結晶です。



切れた！

バンザイ！勝ったぞ〜！

合戦が終わった後は、凧の残骸の後始末です。みんなの魂が乗り移った凧に感謝して、丁寧に後始末をします。

網を切り取った組が勝者となり、勝ち数「1」が与えられます。多くの勝ち点を得た組が優勝です。引き合い時間は大凧の場合1分-(休憩1分)-1分-(休憩1分)-1分、巻凧の場合は、1分-(休憩1分)-1分です。

表彰式



凧作りと揚げ方の技術、チームワークが実を結び優勝旗を手に入れます。

歴史

江戸時代の中ごろ、白根町の人々が中ノロ川の堤防の改修工事の完成を祝って藩主から送られた凧を揚げたところ、対岸の西白根に落ち、家や農作物を荒しました。これに怒った西白根の人が対抗して凧を揚げて、白根側にたたきつけたことから凧合戦が始まったと伝えられています。

- 明治44年 日本に初めてスキーを紹介したレルヒ少佐が凧合戦を観戦し、いたく感動し、優勝旗の奇蹟を申し出る。これを契機に「白根凧合戦協会」が発足。
- 昭和7年 鯛町組対上組(現在の謙信組)による4時間にも及ぶ合戦が行われ、勝負がつかず初の引き分けを記録する。
- 昭和8年 当時の日本を代表する作曲家 中山晋平、作詞家 野口雨情が白根を訪れ、御当地ソングのはしりとも言える「白根小唄」、「凧音頭」を作る。
- 昭和23年 太平洋戦争のため、一時(昭和19年～22年)中断していた凧合戦が復活。
- 昭和50年 九尺二間(6畳)の凧による子供凧合戦大会が始まる。
- 昭和54年 アメリカ・シアトルに招かれ、初の海外遠征に出る。
- 昭和55年 縦19m、横14m、面積161畳の大凧を作り、実際に揚げることに成功、世界最大の凧として「81ギネスブック」に記録される。

- 昭和57年 縦12m、横8m、面積60畳の大凧に人間を乗せ、空に掲げる実験に成功、製作技術の確かさを実証した。
- 昭和61年 ヨーロッパ諸国において真の日本を紹介し、友好親善を目的に開催される「ヨーロッパジャパンウィーク」に参加。(以後第3回を除いて毎年参加)
- 平成6年 世界最大級の凧の資料館「しるね大凧と歴史の館」オープン。「国際凧フェスティバルinしるね」を開催。
- 平成11年 再び面積60畳の大凧に人間を乗せる企画を行い見事成功を収める。
- 平成23年 レルヒ少佐から優勝旗を拝受して100周年。
- 平成24年 「白根凧合戦協会」設立100周年。
- 平成25年 アメリカ(ワシントン州)の世界凧博物館に殿堂入り。
- 平成27年 新潟県無形民俗文化財に指定される。

